

審議会等の会議結果報告

1 会 議 名	令和6年度 第1回 松阪市松浦武四郎記念館運営審議会
2 開 催 日 時	令和6年9月6日（金） 午後1時30分～午後3時00分
3 開 催 場 所	松阪市小野江町 383 番地 松浦武四郎記念館 多目的室
4 出席者氏名	委 員（◎委員長、○副委員長）7名 ◎萬濃 正通、○松本 良弘、松浦 史明、鈴木 えりも、 山中 和儀、野田 幸範、中村 千恵 事務局 4名 小川 可奈子（文化課 文化財担当主幹）、 山本 命 （松浦武四郎記念館 館長） 佐藤 圭祐 （同館 学芸員） 世古 詩央里（同館 会計年度任用職員）
5 公開及び非公開	公開
6 傍 聴 者 数	なし
7 担 当	松浦武四郎記念館 TEL 0598-56-6847 FAX 0598-56-7328 E-mail matsutake.k@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

- （1）令和6年度 運営状況報告
 - ①松浦武四郎記念館
 - ②松浦武四郎記念館誕生地
 - ③武四郎まつり
- （2）その他

令和6年度 第1回 松阪市 松浦武四郎記念館 運営審議会 議事録

日 時：令和6年9月6日（金） 13時30分～15時00分

出席者：7名（事項書委員名簿順）

委員 松浦 史明（松浦武四郎直系子孫）
委員 鈴木えりも（松阪市文化財保護審議会 委員）
委員長 萬濃 正通（松阪市小野江小学校 校長）
委員 山中 和儀（松阪市小野江公民館 館長）
委員 野田 幸範（本居宣長記念館 館長）
副委員長 松本 吉弘（旧長谷川治郎兵衛家・旧小津清左衛門家・原田二郎旧宅 館長）
委員 中村 千恵（三重県総合博物館 学芸員）

欠席者：1名

委員 五嶋 伸幸（松阪北部商工会 会長）

事務局：4名

小川可奈子（産業文化部 文化課 文化財担当主幹 兼 文化財係長）
山本 命（松浦武四郎記念館 館長）
佐藤 圭祐（松浦武四郎記念館 学芸員）
世古詩央里（松浦武四郎記念館 学芸員）※会計年度任用職員

傍聴者：なし

内 容：1. 開 会

2. 委員委嘱 松浦武四郎記念館 山本館長から山村委員に委嘱状を交付

3. あいさつ 松浦武四郎記念館 山本館長

4. 協議事項 事項書に沿って下記の報告を行い、質問・意見をいただいた。

（1）令和6年度 運営状況報告

①松浦武四郎記念館

②松浦武四郎記念館誕生地

③武四郎まつり

（2）その他

①団体見学について

副委員長 旧長谷川治郎兵衛家・旧小津清左衛門家・原田二郎旧宅では修学旅行や社会見学で、市内散策と合わせて団体見学が増えてきている。記念館も見たところ団体客が増えてきているように感じるが、何か原因がわかれば教えてほしい。

事務局 松阪市内では郷土の偉人学習において5年生で武四郎が取り上げられており、鈴鹿サーキットの見学と合わせて来館するケースが多い。市外では6年生の修学旅行で利用いただくことがあり、特に名張市や伊賀市から伊勢志摩・尾鷲へ

行く際、出発してちょうど1時間程度の位置にあり、休憩地点にあり学習もできるため、見学先に選んでもらっている。ほかにも人権研修として、滋賀県から来館いただいている団体もある。団体見学で来館した方たちの口コミで、転勤した先生がほかの学校から来館していただけることもあり、口コミの力を大事にしたい。

委員長 小野江小学校で劇をした経験から、ほかの学校へ転勤した先生がまた郷土の偉人学習や人権学習で武四郎を取り上げ、文化祭で劇をするなど武四郎学習の輪を広げてもらっている。

事務局 8月に偉人顕彰団体の展示で、市内の生徒が調べたことを発表してもらったが、私立の三重中学校が熱心に調べてもらっていたのを見て、市立の小学校・中学校だけでなく私立の三重中学校にも目を向けるべきであると考えを改めた。

副委員長 副読本を作ってから10年ほど経っているが、だんだんと郷土の偉人について関心を持ってもらえるようになったと感じており、バスなどの交通手段さえ確保ができれば、さらに来館者が増えるのではないかな。

事務局 駅から離れており、バスが無ければ来館しにくいので、来年の大阪関西万博でバスが予約しにくくなるとの話を聞いて、少し心配している。

委員 本居宣長記念館では、例年小学校の見学が多いが、今年は中学校が多かった。燃料高騰などでバス代が上がって市外県外へ出ることが難しくなっており、近場でどこか学習できる場所を探して、宣長記念館に来館した経緯があった。市内市外小中学校にPRしていくことも大事ではないかな。

委員 三重県総合博物館の場合、団体見学は秋の社会見学や遠足が主になっており、基本自由見学である。子どもたちにきちんと見てほしいため、ある程度の時間でできるワークシートを作してほしいとの希望があり、ホームページに高学年用・低学年用にわけてワークシートをダウンロードできるようにしている。三重県総合博物館は高校生が来ることは少ないが、記念館は「探求学習」のカリキュラムでテーマになりそうなので、小学校や中学校だけでなく高校へも働きかけてはどうか。またネットで検索するなど学習の仕方も変わってきているので、ジャパンサーチなど横断検索ができるサイトに入れて、触れるきっかけを作ることも考えてはどうか。

委員長 小中高校のカリキュラムに「探求学習」があり、総合の時間に子どもたちがテーマを決めるが、その探求学習で何をするか困っている先生がたくさんいる。小野江小学校は松浦武四郎記念館が近くにあり、何度でも来館してたくさんの方が学べる環境にあるが、何度も角度を変えて学べる人物が武四郎だと思うので、そこもPRしてもよいのではないかな。

副委員長 昔はある人物だけに焦点を当てた記念館などは、なかなか集客が難しいといわれていたが、その人物のこういったところをテーマにするかなど光の当て方でさまざまな展示ができることがわかってきた。そういったところもPRになるのでは。

②松浦武四郎 in ウポポイなど北海道での出張講演の反響について

事務局 北海道では松浦武四郎が歩いた場所を歩く体験型のツアーが企画されたり、講演には3時間かけて来てもらう方がいたり、武四郎の足跡について関心を持っている人が多くいろいろな声をいただけている。

③誕生地の貸館について

副委員長 貸館としての需要はどこかにあると思うので、まずは貸館をやっていることを周知することが大事ではないか。

事務局 古い建物ということで、茶道や華道、コスプレなどで利用できると思うので、利用できることを考え、周知していきたい。

④武四郎まつりについて

委員 おまつりと武四郎記念館開館30年、市政20年がかぶっているので、期間限定のグッズを作ってはどうか。

事務局 学生の間で一時期地元のキャラクターのラインスタンプを送ることが流行ったことがある。売れるグッズを作るのはなかなか難しいが、いろいろな意見を取り入れながら検討していきたい。

委員 一案として、武四郎がハンコをたくさん作っているので、シャチハタで武四郎の印鑑を作ってみてはどうか。「馬角斎」などいろいろ作れるものがある気がする。

以上